

ibis Osaka Umedaのサステナビリティ・環境方針

イビス大阪梅田では、環境に配慮し、日常業務において環境に配慮した持続可能な取り組みを提唱しています。

さまざまな環境と持続可能性への取り組みは、当ホテル運営の中核的な柱であり、周辺コミュニティに社会的および環境的利益をもたらすよう努めています。私たちは、世界の観光産業における当ホテルの役割を認識し、私たちの活動の長期的で持続可能な運営に努め、業界全体の持続可能な発展に積極的に貢献しています。

イビス大阪梅田では、以下の取り組みを重点的にを行っています。

- ・経営活動による環境負荷の低減と環境・保全活動への参加による環境保全
- ・環境パフォーマンスを継続的に監視し、健全な環境目標を設定する
- ・エネルギーと水の節約による環境フットプリントの削減
- ・廃棄物の発生を最小限にとどめ、積極的に削減、再利用、リサイクルする
- ・可能な限り、オーガニック、エコラベル、フェアトレードラベル、地元産品、季節の産品を使用
- ・環境と持続可能性の問題に関するスタッフの教育と定期的なトレーニングの提供
- ・お客様への環境活動への参加を奨励
- ・環境と持続可能性に関する意識の向上
- ・社会、文化、経済、品質、人権、健康、リスク、危機管理に関するCSR方針の策定

ibis STAY

水

- ・客室清掃には環境に配慮した洗剤を使用しております。
- ・施設内の水の流量は毎分8/9Lに設定しております。
- ・水道水・井水に関しては法律に則り、第三者機関により定期的に水質検査を行っています。
- ・水道水は飲料水としてもご利用頂けます。
- ・Schneider Electricと作ったシステム上に水道は計量・記録し、節水に努めています。

エネルギー

- ・二酸化炭素の排出を防ぐために社内の電気をLED化しています。
- ・Schneider Electricと作ったシステム上に電気とガス、廃棄物の計量・記録し、使用減と削減に努めています。
- ・シーツ・タオル交換に関する案内を、客室に設置しています。
- ・ペーパータオル、ティッシュペーパー、トイレトペーパーは、環境配慮型製品です。

プラスチック削減

- ・環境配慮の為、シングルユースプラスチックは客室内に設置していません。
- ・レストランの持ち帰り用コーヒーカップと蓋、ストロー、テイクアウト用の箱、カトラリーすべて紙製または木製です。

EAT

廃棄物処理

- ・ゴミは法制度に従い、細かく分別しています。
- ・生ゴミは地域選定業者より回収、養鶏用肥料として利用されています。
- ・Schneider Electricと作ったシステム上に一般ゴミ・産業ゴミ・生ごみは計量・記録し、食品廃棄コントロールと減少に努めています。

サステナブルフード

- ・レストランで、ヴィーガン/ベジタリアンメニューを用意しています。
- ・絶滅危惧種または保護対象種に由来した食品は取り扱いません。
- ・平飼いの鶏舎で育てられた鶏たちが産んだ卵を使用しています。

EXPLORE

パートナーシップ

持続可能な開発に取り組んでいるサプライヤーや地域企業と取引を行っています。

UCC上島珈琲株式会社
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
スジャータめいらく株式会社
株式会社トーホー
沖物産株式会社
日本食研株式会社
株式会社オリエンタルベーカリー
株式会社進々堂
株式会社アクアリンク

生物多様性

- ・使い捨てプラスチックごみ削減に向けた取り組みについてご案内し、お客様へ環境に関する啓発活動を提供しています。
- ・自然への関心を高め、触れ合える場所を紹介しています。

扇野公園

- ・最寄りのレンタサイクルの情報を提供しています。

バイクシェアサービス

PEOPLE

人権

- ・アコー倫理・CSR憲章に基づき、スタッフの人権を尊重しています。
- ・女性及び地域のマイノリティ雇用を公平に実施しております。
- ・環境、健康、安全、労働の分野を含む、全ての国際、国内、地域の法制度に従っています。
- ・強制労働、児童労働は行っておりません。
- ・労働安全衛生法に基づき、喫煙所以外は全館禁煙としています。

策定日 2024年10月1日

Towards sustainable hospitality.



Green Key

【Green Key (グリーンキー)について】

国際エコラベル『グリーンキー』は、デンマークに本部を置く国際環境教育基金 (FEE) が定めた厳しい基準をもち、ホテルからキャンプ場までのあらゆる規模の宿泊施設の環境方針と持続可能な運営を評価、確認します。そして消費者がグリーンキーエコラベル取得施設を利用することで、持続可能な観光振興に寄与し、社会のあらゆる面においてプラスの変化をもたらすことをお約束します。グリーンキーの環境基準は詳細に文書化されており、エコラベル取得後においても定期的に再審査を受けて取り組みを維持・改善することが求められています。2024年1月現在、世界の60を超える国において、5000以上の施設がグリーンキーを取得しており、この数字は増えつつあります。 <https://jarta.org/greenkey>